

第1学年の保護者の皆様

令和6年3月22日

県立川和高等学校  
校長 師岡 健一

### 令和5年度「生徒による授業評価」集計結果のお知らせ

陽春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日ごろから本校の教育活動について、ご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。

さて、昨年12月に次の1～3の内容で「生徒による授業評価」を実施いたしました。集計結果（裏面参照）とアンケート結果を踏まえて各教科でまとめた授業改善に向けての今後の取組みについてご報告いたします。

1. 調査対象：本校生徒全員（欠席者を除く）。

2. 調査内容：生徒が受けているすべての授業について、次の評価票を使用し、各項目に数字（4～1）で回答。

【4：かなり当てはまる 3：ほぼ当てはまる

2：あまり当てはまらない 1：ほとんど当てはまらない】

3. 評価票

県立川和高等学校

科目名 教科担当者 先生 年 組

・「小項目の評価欄」にあなたが当てはまると思う下記の評価番号（1～4のどれか）を記入して下さい。

4 かなり当てはまる 3 ほぼ当てはまる 2 あまり当てはまらない 1 ほとんど当てはまらない

大項目	小項目		評価
授業の在り方について	1	毎時間の授業や単元（内容のまとまり）のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある	
	2	単元（内容のまとまり）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある	
	3	単元（内容のまとまり）の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある	
学習の状況について	4	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた	
	5	他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた	
	6	授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた	
	7	授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた	

自由記述欄

4. 各教科の授業改善に向けての取り組み（一部抜粋・1年生）

【国語】生徒が基礎的基本的な知識の習得をした上で、主体的に学習に取り組めるような授業展開を考え、思考力・判断力・表現力を高められるような授業づくりを目指す。また、ICTなども活用しながら、多様な展開を模索していきたい。

【地歴・公民】生徒が地理に関する見方・考え方を発揮できるように、様々な資料を読み、ペアワークやグループワークを通して主体的・対話的で深い学びを目指す授業を行った。今後はICT機器を活用し、生徒同士の意見交流、意見形成をさらに充実させ、知識そのものの習得も意識した授業づくりを工夫していきたい。

【数学】授業準備において、生徒主体の授業を展開できるように模索していきたい。知識の習得に加え、記述式問題に対応することができる表現力と発展的な問題に対応できる応用力を身につけさせる内容とし、授業への充実感を得られるようにする。

【理科】引き続き、授業内容の準備・工夫を充実させることを意識し、基礎学力の定着を図っていくとともに、学習意欲の向上のため適切な課題作りを検討していく。また、実験などを効果的に授業に取り入れていきたい。

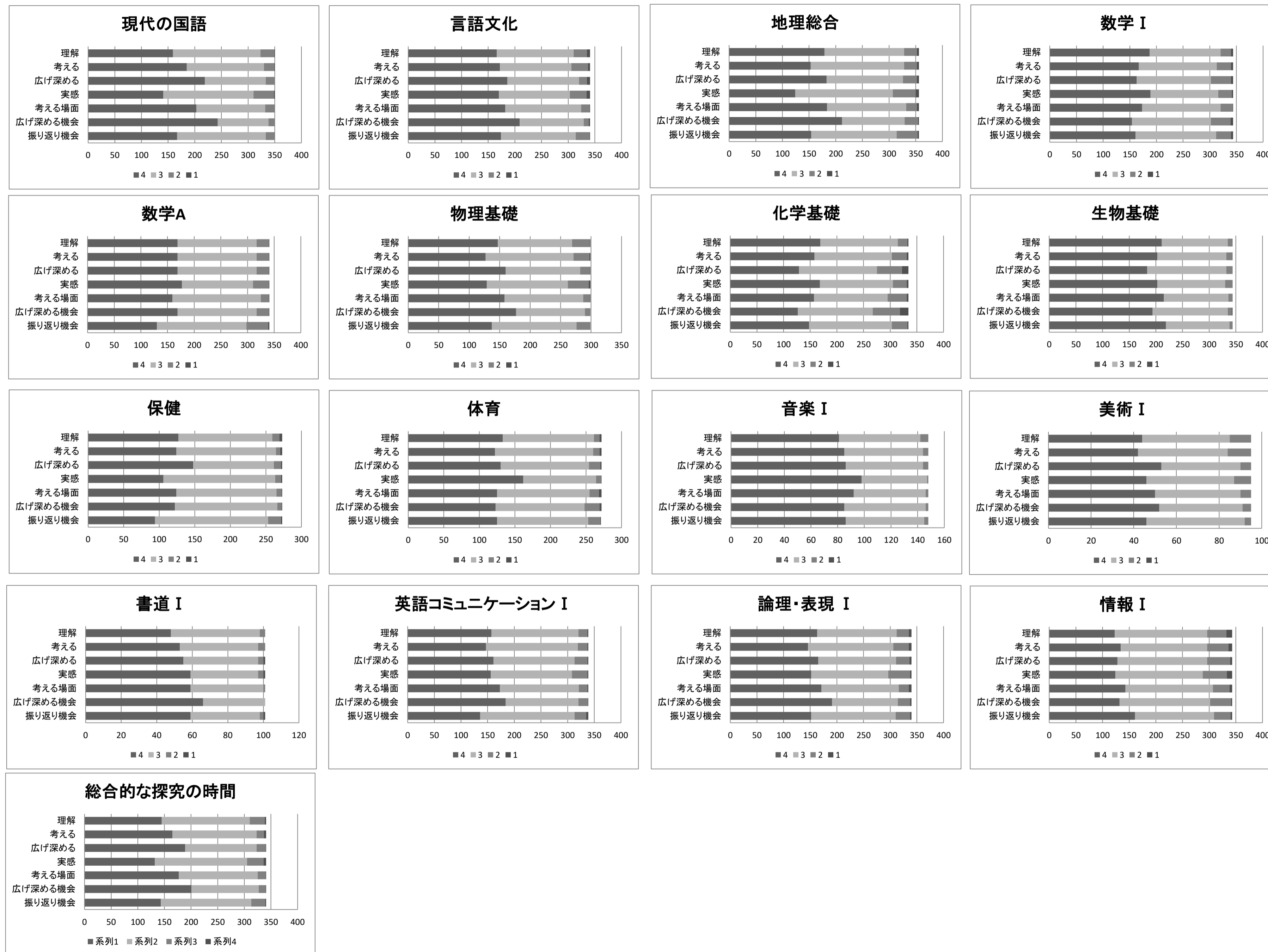
【芸術】全ての項目においておおむね良好であった。授業冒頭の歌唱の時間を楽しみにしている生徒が多く、その選曲に関するリクエストが目立った。時間をかけてじっくり取り組める題材とは別に、毎回異なるジャンルや時代の曲を冒頭で扱うことは、音楽の幅広い知識や興味を広げるきっかけになり、生徒が音楽を愛好して生きていくことに繋がる点で非常に有効だと考える。今後も、生徒の声を反映させつつ様々な音楽と出会う機会を提供できるこの冒頭の歌唱時間を継続していく。

【外国語】概ね良好な結果であったが、授業のあり方として、授業内容を振り返る機会がやや少ないという評価結果となった。普段の授業では、教科書内の英語表現から日常における使い方やそのポイントなどを学び、教科書で取り扱った題材について考え、自分の言葉で表現できるような指導を心掛けているが、扱う内容が多くゆっくと振り返る時間をより持つよう意識していきたい。

【情報】今年度は、身近な題材から興味・関心を喚起する授業や考える力を養う授業を取り入れた。自ら問題を発見し、解決していく力が身についたと考える。また、評価を受け、難しい内容は視覚的に表現していくなど理解を深める工夫をしていきたい。

【総合的な探究の時間】生徒が主体となって興味のある事柄について考え、振り返って次回の探究内容を決めることができていた。評価を受け、探究する上で重要なものごとの見方・考え方を教員側からも積極的に提示し、授業で身に付いたことを実感する機会を設けるようにしたい。

令和5年度 後期 生徒による授業評価(第1学年)



4:かなり当てはまる 3:ほぼ当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:ほとんど当てはまらない